

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 3月 6日更新

事務事業名	職員給与と支給事務		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	総務部	課長名	財津 公正
	施策	25	行政改革の推進	所属課	総務課	担当者名	榮 峰男
	施策の柱	83	効果的な組織運営	所属班	人事班	(内線)	1222
予算科目	会計一般	款 1	項 1	目 1	事業連番 10955 他	根拠法令	地方自治法第204条
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			
						成果優先度評価結果	: ⑩
						コスト削減優先度評価結果	: ①

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	職員給与と支給に関する事務以前より人事担当部署で一括して行うことにより効率を図ってきた。
【業務の流れ】	【内容】各職員（特別職3人、一般職313人）に対する給料及び各種手当の支給に関し必要な手続き・事務処理を行う ①職員からの各種異動届の提出、修正入力 ②各課から時間外報告書の提出、情報入力 ③控除項目の変更届の提出、修正入力 ④給与支給の計算処理、確認作業、金融機関へのFD作成、FD渡し ⑤給与支給明細（個人）の作成、交付 【時期】給料（毎月21日支給）、期末勤労手当（6月30日、12月10日支給）
【主な予算費目】	一般会計の各費目の給与総額
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	平成27年4月現在の職員（特別職3人、一般職318人）に対して、給与12回、賞与2回を事故なく支給することが出来た。また、共済費や職員手当等についても、法令に基づき適切に処理することができた。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 平成28年4月 職員数 特別職3人、一般職3●●人 給与12回、賞与2回
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 →イ: 給与・賞与支払い回数	予算の主な増減の理由 退職、採用による職員数の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 職員	(単位) 人 →イ: 職員数	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 支給管理の一元化による事務の効率化により、適正な支給を受ける。	(単位) % →イ: 支払が滞らなかった件数の割合	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 給与及び賞与の支給回数は条例で定められているので、その回数を成果指標とはできない。正確に支給することは当然のことであるため、支払が滞らなかった件数の割合は100%とした。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア	回	14	0	14	0	0	0	0	0	
	イ										
② 対象指標	ア	人	315	0	322	0	319	321	0	0	
	イ										
③ 成果指標	ア	%	100	0	100	0	0	0	0	0	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円	7,916	8,686	7,626	22,542	7,432			
		都道府県支出金	千円	92,100	85,684	85,454	85,401	79,312			
		地方債	千円								
		その他	千円	50,660	57,481	52,821	65,641	48,082			
		繰入金	千円				2,364				
	一般財源	千円	1,810,695	1,863,760	1,959,358	1,865,578	1,950,352				
	(A) 事業費計	千円	1,961,371	2,015,611	2,105,259	2,041,526	2,085,178	0	0	0	
	(A)のうち指定経費	千円	1,960,653	2,014,915	2,104,563	2,039,512	2,083,367	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	4	4	4	0	4	0	0	
	延べ業務時間	時間	1,188	1,064	830	0	830	0	0		
	(B)人件費計	千円	4,732	4,238	3,306	0	3,306	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,966,103	2,019,849	2,108,565	2,041,526	2,088,484	0	0		

事務事業名	職員給与支給事務	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 班員で連携・協力し、給与12回、賞与2回の支払いは滞りなく行う。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 現状の一括管理が効率的である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似する事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適正に行われている。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人件費で行っているため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公平・公正に行われている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市職員給与の支給事務は、市が行うべきものである。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

良好である

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						